

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	川口淑子			
授業科目	英語 ベーシック I					
英 訳	English Basic I					
配当年次	1年次	前期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 文法など基礎の補偏に重点を置きながら英文を読み、作文などにも取り組む。						
【授業の目的】 自分の英語力を把握した上で、今後活用することになる知識を増やし、応用への準備をする。						
【到達目標】 英語の基本的な知識を取得し、様々な英語表現を学ぶ。						
【準備学習(予習・復習)】 授業前に必要に応じて、テキストの簡単な下調べを行っておくこと。また疑問点は時間を問わずに質問すること。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション 第 2回 Unit 1 Food and Health 問題演習 第 3回 Unit 1 問題演習と復習 第 4回 Unit 1 問題演習、小テスト 第 5回 Unit 2 Our Bond with Animals 問題演習 第 6回 Unit 2 問題演習と復習 第 7回 Unit 2 問題演習と復習、小テスト 第 8回 応用問題演習、これまでのまとめ 第 9回 Unit 3 History Detective 問題演習 第 10回 Unit 3 問題演習と復習 第 11回 Unit 3 問題演習、小テスト 第 12回 Unit 4 Traditions and Rituals 問題演習 第 13回 Unit 4 問題演習と復習 第 14回 Unit 4 問題演習、小テスト 第 15回 これまでの授業の総括						
【教科書】 Reading Explorer 2 (Cengage Learning、2015 年版)						
【参考書】						
【成績評価基準】 期末試験 (50%)、授業内での課題、授業への取り組み (30%)、小テスト (20%) で評価する。						
【メッセージ】 英語が苦手な受講者も、自分の英語力を確認しながら必要な知識を補っていく授業です。早い段階で基礎力を固めると今後、学習、研究がやりやすくなるので積極的に参加してください。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	川口淑子			
授業科目	英語 ベーシック II					
英 訳	English Basic II					
配当年次	1年次 後期	必選別	選択	単位数	1単位	
【授業の概要】 文法など基礎の確認に重点を置きながら英文を読み、作文などにも取り組む。						
【授業の目的】 自分の英語力を把握した上で、今後活用することになる知識を増やし、応用への準備をする。						
【到達目標】 英語の基本的な知識を取得し、様々な英語表現を学ぶ。						
【準備学習(予習・復習)】 授業前に必要に応じて、テキストの簡単な下調べを行っておくこと。また疑問点は時間を問わずに質問すること。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション 第 2回 Unit 5 Urban Underworld 問題演習 第 3回 Unit 5 問題演習と復習 第 4回 Unit 5 問題演習、小テスト 第 5回 Unit 6 Reef Encounters 問題演習 第 6回 Unit 6 問題演習と復習 第 7回 Unit 6 問題演習、小テスト 第 8回 応用問題演習、これまでのまとめ 第 9回 Unit 7 問題演習 第 10回 Unit 7 問題演習と復習 第 11回 Unit 7 問題演習、小テスト 第 12回 Unit 8 Great Explorers 問題演習 第 13回 Unit 8 問題演習と復習 第 14回 Unit 8 問題演習、小テスト 第 15回 これまでの授業の総括						
【教科書】 Reading Explorer 2 (Cengage Learning, 2015年版)						
【参考書】						
【成績評価基準】 期末試験 (50%)、授業内での課題、授業への取り組み (30%)、小テスト (20%) で評価する。						
【メッセージ】 英語が苦手な受講者も、自分の英語力を確認しながら必要な知識を補っていく授業です。早い段階で基礎力を固めると今後、学習、研究がやりやすくなるので積極的に参加してください。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	川口淑子			
授業科目	ライティング I					
英 訳	English Writing I					
配当年次	2年次	前期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 文法の確認も行いながら様々な英語表現を学び、作文力をつける。自分にとってわかりやすいようにノートをまとめ、のちに応用できるようにしておくことが重要。						
【授業の目的】 作文を行う際に基礎となる文法や多様な表現を学び、わかりやすく適切な英作文ができるようにする。						
【到達目標】 英語の多様な表現を学び、要件を的確に伝える作文力を身につける。						
【準備学習(予習・復習)】 授業前に必要に応じて、テキストの簡単な下調べを行い、学んだ情報を授業の後で整理すること。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション 第 2回 Chapter 1 5つの基本文型 問題演習 第 3回 Chapter 1 問題演習と復習、小テスト 第 4回 Chapter 2 動詞 問題演習 第 5回 Chapter 2 問題演習と復習、小テスト 第 6回 Chapter 3 進行形・未来形・助動詞 問題演習 第 7回 Chapter 3 問題演習と復習、小テスト 第 8回 応用問題演習、これまでのまとめ 第 9回 Chapter 4 名詞・冠詞・代名詞 問題演習 第10回 Chapter 4 問題演習と復習、小テスト 第11回 Chapter 5 前置詞・接続詞1 問題演習 第12回 Chapter 5 問題演習と復習、小テスト 第13回 Chapter 6 形容詞・副詞・比較級 問題演習 第14回 Chapter 6 問題演習と復習、小テスト 第15回 これまでの授業の総括						
【教科書】 Elementary English Reading & Writing (佐藤哲三、他、南雲堂)						
【参考書】						
【成績評価基準】 期末試験 (50%)、授業内での課題、授業への取り組み (30%)、小テスト (20%) で評価する。						
【メッセージ】 作文は、これまでの学習の集大成とも言えます。まだ基礎力に自信がない受講者はこの機会に再確認し、自分が表現したいことをできるようにしましょう。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	川口淑子			
授業科目	ライティング II					
英 訳	English Writing II					
配当年次	2年次	後期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 文法の確認も行いながら様々な英語表現を学び、作文力をつける。自分にとってわかりやすいようにノートをまとめ、のちに応用できるようにしておくことが重要。						
【授業の目的】 作文を行う際に基礎となる文法や多様な表現を学び、わかりやすく適切な英作文ができるようにする。						
【到達目標】 英語の多様な表現を学び、要件を的確に伝える作文力を身につける。						
【準備学習(予習・復習)】 授業前に必要に応じて、テキストの簡単な下調べを行い、学んだ情報を授業の後で整理すること。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション 第 2回 Chapter 7 命令文・感嘆文 問題演習 第 3回 Chapter 7 問題演習と復習、小テスト 第 4回 Chapter 8 不定詞 問題演習 第 5回 Chapter 8 問題演習と復習、小テスト 第 6回 Chapter 9 動名詞と分詞 問題演習 第 7回 Chapter 9 問題演習と復習、小テスト 第 8回 応用問題演習、これまでのまとめ 第 9回 Chapter 10 各種疑問文・It の用法 問題演習 第 10回 Chapter 10 問題演習と復習、小テスト 第 11回 Chapter 11 受動態 問題演習 第 12回 Chapter 11 問題演習と復習、小テスト 第 13回 Chapter 12 完了形 問題演習 第 14回 Chapter 12 問題演習と復習、小テスト 第 15回 これまでの授業の総括						
【教科書】 Elementary English Reading & Writing (佐藤哲三、他、南雲堂)						
【参考書】						
【成績評価基準】 期末試験 (50%)、授業内での課題、授業への取り組み (30%)、小テスト (20%) で評価する。						
【メッセージ】 作文は、これまでの学習の集大成とも言えます。まだ基礎力に自信がない受講者はこの機会に再確認し、自分が表現したいことをできるようにしましょう。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	川口淑子			
授業科目	コミュニケーション英語 I					
英 訳	Communication English I					
配当年次	2年次	前期	必選別	選択	単位数	1単位
【授業の概要】 リスニングとスピーキングに比重を置くが、基礎知識の確認も行っていく。また、プレゼンテーションの基礎を学ぶ。						
【授業の目的】 英語を通して状況を理解し、英語による表現力も高める。						
【到達目標】 実用的な英語力を高め、自分の意思を英語で伝えられるようにする。						
【準備学習(予習・復習)】 授業前に必要に応じて、テキストの簡単な下調べを行っておくこと。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション 第 2回 Unit 1 Vacations 第 3回 Unit 2 Growing UP 第 4回 Unit 3 Entertainment 第 5回 Unit 4 Food and Drink 第 6回 Unit 5 Travel and Tourism 第 7回 Unit 6 Education 第 8回 応用問題演習、これまでのまとめ 第 9回 Unit 7 Fashion 第10回 Unit 8 Living Abroad 第11回 Unit 9 Working Life 第12回 Unit 10 Health 第13回 Unit 11 Changing Times 第14回 復習、発表 第15回 これまでの授業の総括						
【教科書】 World Interviews (Miles Craven, 成美堂)						
【参考書】						
【成績評価基準】 期末試験 (50%)、授業内での課題、授業への取り組み (30%)、小テスト (20%) で評価する。						
【メッセージ】 実用的な英語に多く触れ、それを参考にしながら無理なく自分の考えを人に伝える練習をします。誰でも努力すると充実感が得られる授業になると思うので、楽しみながら積極的に参加してください。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	川口淑子			
授業科目	コミュニケーション英語 II					
英 訳	Communication English II					
配当年次	2年次 後期	必選別	選択	単位数	1単位	
【授業の概要】 リスニングとスピーキングに比重を置くが、基礎知識の確認も行っていく。また、プレゼンテーションの基礎を学ぶ。						
【授業の目的】 英語を通して状況を理解し、英語による表現力も高める。						
【到達目標】 実用的な英語力を高め、自分の意思を英語で伝えられるようにする。						
【準備学習(予習・復習)】 授業前に必要に応じて、テキストの簡単な下調べを行っておくこと。						
【授業計画】 第 1回 オリエンテーション 第 2回 Unit 12 Student Life 第 3回 Unit 13 The Arts 第 4回 Unit 14 Shopping 第 5回 Unit 15 Friends 第 6回 Unit 16 Sport 第 7回 Unit 17 Politics 第 8回 応用問題演習、これまでのまとめ 第 9回 Unit 18 Animals 第 10回 Unit 19 Money Matters 第 11回 Unit 20 Cultural Identity 第 12回 Unit 21 Family 第 13回 Unit 22 Youth Culture 第 14回 復習、発表 第 15回 これまでの授業の総括						
【教科書】 World Interviews (Miles Craven, 成美堂)						
【参考書】						
【成績評価基準】 期末試験 (50%)、授業内での課題、授業への取り組み (30%)、小テスト (20%) で評価する。						
【メッセージ】 実用的な英語に多く触れ、それを参考にしながら無理なく自分の考えを人に伝える練習をします。誰でも努力すると充実感が得られる授業になると思うので、楽しみながら積極的に参加してください。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	平瀬 洋子			
授業科目	時事英語 I					
英 訳	Current English I					
配当年次	3 年次	前期	必選別	選択	単位数	1 単位
【授業の概要】 グローバル化が進む中、現代社会学科専攻として日本の社会だけでなく、今、世界で起こっていることにも目を向けて欲しい。教科書では、日本の社会や企業の現状について英語で学び、オンラインでは、アメリカのABCニュースから世界の様々な情報を得ると共に、出来るだけ視野を広め、明確な自分の考えや意見を持って頂きたい。						
【授業の目的】 上記の通り、この授業では、教科書とオンラインのABCニュースの両方を利用して、日本だけでなく、世界の現状についても学びます。そのためには、特に、時事英語の語彙力、リスニング力、読解力が必要になるため、授業ではニュースのディクテーションを行って、リスニング力を養成します。また、時事英語に関するプリント教材を使用して語彙力と読解力を養成します。						
【到達目標】 英語のニュースを聞いたり、または読んだりした時、内容が理解できるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 1. 毎週、指定される教科書の範囲を必ず予習しておくこと。 2. 時事英語のプリントを復習して小テストの準備をしておくこと。						
【授業計画】 第 1 回 授業の進め方について説明 第 2 回 Unit 1 Suntory University Preps Workers for Global Growth 第 3 回 Unit 1 Dialogue , ABC News のディクテーション 第 4 回 Unit 2 Japan Productivity Grains Key to Starving off Decline 第 5 回 Unit 2 Dialogue , ABC News のディクテーション 第 6 回 Unit 3 Japanese Office Worker's Stunning iPhone Sketches 第 7 回 Unit 3 Unit 1~3 の復習 第 8 回 Unit 4 Perceptions of Space, from Japan to the World 第 9 回 Unit 4 Dialogue , ABC News のディクテーション 第 1 0 回 Unit 5 Robots to Descend on Haneda Airport 第 1 1 回 Unit 5 Dialogue , ABC News のディクテーション 第 1 2 回 Unit 6 Japanese Scientists Go High-tech to Repair Ancient Indonesian Temple 第 1 3 回 Unit 6 Dialogue , ABC News のディクテーション 第 1 4 回 Unit 7 Omotenashi Hospitality Boosts Japan 第 1 5 回 Unit 4~7 の復習と練習問題の実施						
【教科書】 Global Leadership Adventures 編著者：Peter Nagano 発行所：松柏社						
【参考書】 必要に応じて、授業で紹介する。						
【成績評価基準】 課題・小テスト：30%、授業への取り組み：20%、中間・期末試験：50%						
【メッセージ】 毎時間、授業にはテキスト、配布されたプリント、辞書を持参すること。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	平瀬 洋子			
授業科目	時事英語 II					
英 訳	Current English II					
配当年次	3 年次	後期	必選別	選択	単位数	1 単位
【授業の概要】 前期同様に、現代社会学科の皆さんには、グローバル社会に対応できるように、日本の社会だけでなく、今、世界で起こっていることにも目を向けて頂きたい。教科書では日本の社会や企業の現状を理解し、またオンラインでは、アメリカのABCニュースから世界の様々な情報を得ると共に、出来るだけ視野を広め、明確な自分の考えや意見を持って頂きたい。						
【授業の目的】 前期同様に授業では、教科書とオンラインのABCニュースの両方を利用して、日本だけでなく、世界の現状についても学びます。時事英語を理解するためには、語彙力、リスニング力、読解力が必要になるため、授業中にニュースのディクテーションを行い、リスニング力を養成します。また、時事英語に関するプリント教材を使って、語彙力と読解力を養成します。						
【到達目標】 英語のニュースを聞いたり、または読んだりした時、内容が理解できるようになること。						
【準備学習(予習・復習)】 1. 毎週、指定される教科書の範囲を必ず予習しておくこと。 2. 時事英語のプリントを復習して、小テストの準備をしておくこと。						
【授業計画】 第 1 回 授業の進め方について説明 第 2 回 Unit 8 Multi-lingualization in Progress at Kyoto Station 第 3 回 Unit 8 Dialogue, ABC News のディクテーション 第 4 回 Unit 9 'Englishnization' Advances at Rakuten 第 5 回 Unit 9 Dialogue, ABC News のディクテーション 第 6 回 Unit 10 Language Skills Key for Kawashima 第 7 回 Unit 10 Unit 8~10 の復習 第 8 回 Unit 11 Things Japanese People Should Not Say to Westerners 第 9 回 Unit 11 Dialogue, ABC News のディクテーション 第 10 回 Unit 12 If Addressed by a Westerner... 第 11 回 Unit 12 Dialogue, ABC News のディクテーション 第 12 回 Unit 13 An Interview with MIYAVI 第 13 回 Unit 13 Dialogue, ABC News のディクテーション 第 14 回 Unit 14 Sayoko Yamaguchi --- The Wearist, clothed in the Future 第 15 回 Unit 11~14 の復習と練習問題の実施						
【教科書】 Global Leadership Adventures 編著者：Peter Nagano 発行所：松柏社						
【参考書】 必要に応じて、授業で紹介する。						
【成績評価基準】 課題・小テスト：30%、 授業への取り組み：20%、 中間・期末試験：50%						
【メッセージ】 毎時間、授業にはテキスト、配布されたプリント、辞書を持参すること。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	徐亜文			
授業科目	中国語 I					
英 訳	Chinese Communication I					
配当年次	1年次	前 期	必選別	選 択	単位数	1 単位
【授業の概要】 中国語の入門授業である。中国語の発音から始めて、基本的な単語、文法事項、簡単な文章、日常会話を学習する。テキストに沿って授業を進め、中国語の基礎知識を系統的に学ぶ。						
【授業の目的】 ゼロから中国語を学ぶ学生を対象として、中国語の発音、単語、文法、会話の基礎を身につけさせることを目的とする。						
【到達目標】 中国語の発音を練習してマスターする。そして基本的な語彙と基本的な文法事項を身につけ、それらを生かして簡単な日常会話ができることを目標とする。						
【準備学習(予習・復習)】 前回の授業で学んだ発音を練習し、単語を覚えること、分からないことがあったら質問をすること。毎回の授業の課題をまとめ、次の授業の時に提出すること。テキストのCDを聞くこと。						
【授業計画】 第 1回 ガイダンス、中国語の基礎知識、テキストなどの使い方についての説明。 第 2回 発音編 I 声調と単母音、複合母音 第 3回 発音編 II 子音、鼻母音を伴う母音 第 4回 発音 III 発音のルール、声調の組合せの発音練習、あいさつの言葉、教室用語 第 5回 テキスト第一課 人称代名詞、動詞述語文、“吗”疑問文、副詞“也”“不” 第 6回 第二課 指示詞“这、那、哪”、“是”(～です)、連体修飾の“的”、疑問詞疑問文 第 7回 第三課 形容詞述語文、反復疑問文「肯定＋否定」、語気助詞“呢”、程度副詞“最” 第 8回 第四課 数詞 日にち・曜日・時刻、名詞述語文 第 9回 第一課～第四課の復習 第 10回 第五課 “的”の省略、場所を表す指示詞“这儿、那儿、哪儿”、所在を表す“在” 第 11回 第六課 所有・存在を表す“有”、“的”の省略、主述述語文、「数詞＋量詞＋名詞」 第 12回 第七課 連動文、助動詞“能”、手段を表す疑問詞“怎么”、助動詞“可以”、動詞の重ね型 第 13回 第五課～第七課復習 第 14回 第 1 課～第八課の復習 第 15回 まとめと期末試験						
【教科書】 『初級テキスト 身に付く中国語 [改訂版] 楊凱榮・張麗群 著 白帝社 2013年						
【参考書】 『大学生のための 初級中国語24回』杉野元子・黄漢青 著 白帝社 2014年。						
【成績評価基準】 試験50%、課題に取り組む姿勢30%、宿題練習20%で評価する						
【メッセージ】 もしあなたは新しいことに挑戦したい、自分を変えてみたいと思うのであれば、中国語を始めてみませんか。この授業はゼロからスタートなので、中国語に関する予備知識がなくても、いまから本気で勉強していけば、間違いなく「中国語を使って世界中の中国語を話す人とコミュニケーションがとれる」という新しい自分に出会えると信じています。ぜひ受講してみてください。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	徐亜文			
授業科目	中国語II					
英 訳	Chinese Communication II					
配当年次	1 年次 後 期	必選別	選 択	単位数	1 単位	
【授業の概要】						
中国語の入門授業である。中国語の発音から始めて、基本的な単語、文法事項、簡単な文章、日常会話を学習する。テキストに沿って授業を進め、中国語の基礎知識を系統的に学ぶ。						
【授業の目的】						
ゼロから中国語を学ぶ学生を対象として、中国語の発音、単語、文法、会話の基礎を身につけさせることを目的とする。						
【到達目標】						
中国語の発音を練習してマスターする。そして基本的な語彙と基本的な文法事項を身につけ、それらを生かして簡単な日常会話ができることを目標とする。						
【準備学習(予習・復習)】						
前回の授業で学んだ発音を練習し、単語を覚えること、不明な点があったら必ず質問をすること。毎回の授業の課題をまとめ、次の授業の時に提出すること。テキストのCDを聞くこと。						
【授業計画】						
第16回 第七課までの復習						
第17回 第八課 時点と時間の幅、「多」＋形容詞、経験を表す“过”、願望を表す“想”						
第18回 第九課 完了の“了”、語気助詞“吧”(推量)、場所を表す前置詞“在”、貨幣の数え方						
第19回 第十課 文末の“了”、“不＋太～”、「有点儿」＋形容詞 “再”、「動詞＋“一下”」						
第20回 第八課～第十課の復習						
第21回 第十一課 “有”を用いる連動文、取り立ての“是～的”、起点を表す前置詞“从”						
第22回 第十二課 動作の進行を表す“在”、持続を表す“着”、使役の“让/叫”、“一点儿”						
第23回 第十三課 受給と受益の“给”、結果補語、“太～了”、動詞の連体修飾						
第24回 第十一課～第十三課の復習						
第25回 第十四課 助動詞“会”、可能補語、語気助詞“吧”(提案・勧誘)、形容詞の重ね型						
第26回 第十五課 “把”構文、受身を表す前置詞“被”、方位詞、存現文、“着”						
第27回 第十六課 様態補語、“就”(～なら)、「疑問詞＋“都”」、禁止を表す副詞“别”						
第28回 第十四課～第十六課の復習						
第29回 第七課～第十六課の復習						
第30回 まとめと期末試験						
【教科書】						
『初級テキスト 身に付く中国語 [改訂版] 楊凱榮・張麗群 著 白帝社 2013年						
【参考書】						
『大学生のための 初級中国語24回』杉野元子・黄漢青 著 白帝社 2014年。						
【成績評価基準】						
試験50%、課題に取り組む姿勢30%、宿題練習20%で評価する						
【メッセージ】						
もしあなたは新しいことに挑戦したい、自分を変えてみたいと思うのであれば、中国語を始めてみませんか。この授業は中国語の入門授業なので、中国語の予備知識がそれほどなくても、いまから本気で勉強していけば、間違いなく「世界中の中国語を話す人と中国語でコミュニケーションがとれる」という新しい自分に出会えると信じています。ぜひ受講してみてください。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	金 廷祐			
授業科目	韓国・朝鮮語 I					
英 訳	Korean Language I					
配当年次	1年次 前記	必選別	選択	単位数	1 単位	
<p>【授業の概要】 この授業では、韓国語の創出過程を理解した後、表音文字である韓国語の基本構成を学ぶ。主な内容は、動詞・形容詞・存在詞・指定詞（四つの用言＝述語）の区分と語尾の基本的な変化、すなわち、丁寧語・否定文・疑問文・助詞の使い方など基礎的な部分の学習である。必要に応じて韓国映画・K-popといったメディアも活用し、学習した言語を早く使ってみる。</p>						
<p>【授業の目的】 この授業は初めて韓国語を学ぶ人のための入門クラスで、韓国語の基礎的コミュニケーション能力を獲得することをその目的とするこの授業は、人工語である韓国語の創出起源を理解し、表音文字である各文字の発音と表記の熟達を目指している。とくに、文字の発音に重点を置きながら、基本的な文法と語彙を用いて、簡単な日常会話を行う。</p>						
<p>【到達目標】 前期授業の到達目標は下記のとおりである。 ・韓国語文字の読み・書きの習熟を行い、円滑な発音ができるようになる。 ・発音の熟達を基礎に、挨拶や自己紹介などの基本的な日常会話ができるようになる。 ・教科書で学んだ基本文型と語彙を熟達して、簡単な文章を構成する力を習得できる。</p>						
<p>【準備学習(予習・復習)】 (復習) 配付プリントを整理し前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問としてまとめること (予習) 次回の項を読んでおくこと、不明点をチェックしておくこと</p>						
<p>【授業計画】</p> <p>第1回 韓国語、朝鮮語、そしてハングル…オリエンテーション</p> <p>第2回 韓国語の文字とその仕組み</p> <p>第3回 バッチムって何ですか…子音の一種であるバッチム(終声)、複合母音・子音、濃音などを説明</p> <p>第4回 おはようございます…習得した文字と発音をいち早く使用した基礎会話</p> <p>第5回 私はタナカです…最も簡単な平叙文の丁寧表現を学習する。</p> <p>第6回 あなたは大学生ですか…第5～6回で学んだ基本的な平叙文を利用した疑問文を学習</p> <p>第7回 私は会社員ではありません…第5～7回で学習した平叙文と疑問文に加えて、否定文を学ぶ。</p> <p>第8回 これは本です。そして、小テスト…この、その、あのの韓国語表現を習得。そして、小テスト実施</p> <p>第9回 ビデオ鑑賞…韓国の文化を映像で楽しむ。</p> <p>第10回 この花はきれいです…動詞とともに用言を構成している形容詞を学ぶ。</p> <p>第11回 話してみましよう…実際韓国の日常生活でよく使われている会話文を習得し実践する。</p> <p>第12回 どこで学びますか。小テスト…今まで学習したことに助詞などを加えた慣用句などを学習。</p> <p>第13回 3月14日はブラックデーです…漢数詞と固有数詞とに構成される数詞を学習する。</p> <p>第14回 暑くありませんか…用言の否定表現を学ぶ。</p> <p>第15回 総まとめ</p>						
<p>【教科書】 『韓国語の初歩 改訂版』巖基珠、金三順、金天鶴、吉川友丈、白水社 2010年初刷</p>						
<p>【参考書】 韓日辞書(たとえば『日韓・韓日辞典』(民衆書林))</p>						
<p>【成績評価基準】 授業に対する姿勢・課題解決度30%、小テスト20%、期末試験50%で評価する</p>						
<p>【メッセージ】 ①相乗効果が高いため、韓国・朝鮮語会話Iとの並行履修をおすすめする。 ②4・5月の学習がその後の進展と楽しさをほぼ決定づけるので、必ず参加すること。</p>						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	金 廷祐			
授業科目	韓国・朝鮮語Ⅱ					
英 訳	Korean Language II					
配当年次	1年次 後期	必選別	選択	単位数	1単位	
【授業の概要】 この授業ではとくに、基本的な文法と語彙をもとに、読み・書き・聞き・話す四機能をバランスよく伸ばしていく。主な内容は、前期で学んだ用言（述語）の基本的な活用に加え、過去形、数詞、よく使う言い回しなどである。前期と同様、必要に応じて韓国映画・K-popといったメディアも活用する。						
【授業の目的】 韓国・朝鮮語Ⅱでは、前期授業において獲得した授業成果、すなわち、ハングル文字と発音の習熟をもとに、基礎的な文法と日常会話の能力を高めていく。また、日本語との対照言語学的な観点からの理論的な面白さを満喫する一方で、実際に使える表現能力の上達を目指す。						
【到達目標】 この授業の到達目標は下記のとおりである。 ・教科書で習った基本文型を使って、より豊かな文章を構成できる。 ・一年間にわたる外国語学習や視聴覚資料を通じて取得した言語や文化から、韓国の社会が理解できるようになる ・韓国語の習得や文化の理解から、自国文化や日本語の特性を再認識できるようになる。						
【準備学習(予習・復習)】 (復習) 配付プリントを整理し前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問としてまとめること (予習) 次回の項を読んでおくこと、不明点をチェックしておくこと						
【授業計画】 第1回 誕生日はいつですか…言語使用で占める「数字」の重要性を再確認 第2回 どこに住んでいますか…普通語と丁寧表現の中間に位置する「略待上称形」を学習する。 第3回 先生いらっしゃいますか…今まで学習してきた丁寧表現をさらに高めた、尊敬表現を学ぶ。 第4回 何をお探でしょうか…前回学んだ尊敬語の略待上称形にあたる用言の活用を学ぶ。 第5回 先週日曜日に何をしましたのですか…過去形（丁寧表現、略待上称形）について学習する。 第6回 何を召し上がりますか。小テスト…好き・嫌いの表現と、未来の意思や推測の表現を学ぶ。 第7回 ビデオ鑑賞…朝鮮半島の現状を表す映像を鑑賞 第8回 何時に会いましょうか…時空間に関連する表現と願望、提案、勧誘などの表現を学習する。 第9回 最近水泳をしています…動詞の進行形と可能・不可能など能力を表す表現を学習する。 第10回 土曜日には宿題をして、日曜日には休みます…用言活用で、並列・先行・様態を表す表現を学ぶ。 第11回 市役所から近いですか…第8回で学んだ時空間の表現に、場所・方向を表す表現を学ぶ。 第12回 電車で行けば約10分ほどかかります。そして、小テスト…仮定法、語尾の変則的な変化などを学習 第13回 私は昨日友たちと宮島へ行きました…過去行った行為に関する表現を使った会話に挑戦 第14回 昨日見た映画は面白くありませんでした…日本語とは全く異なる連体形の仕組みを学習。 第15回 総まとめ						
【教科書】 『韓国語の初歩 改訂版』 巖基珠、金三順、金天鶴、吉川友丈、白水社 2010年初刷						
【参考書】 韓日辞書（たとえば『日韓・韓日辞典』（民衆書林））						
【成績評価基準】 授業に対する姿勢・課題解決度30%、小テスト20%、期末試験50%で評価する						
【メッセージ】 相乗効果が高いため、韓国・朝鮮語会話Ⅱとの並行履修をおすすめする。						

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	徐亜文			
授業科目	中国語会話 I					
英 訳	Chinese Conversation I					
配当年次	1 年次	前 期	必選別	選 択	単位数	1 単位
【授業の概要】						
中国語の発音の仕組みを最初に紹介し、それから発音の基礎となる母音、子音、声調を学習して、その上で基本的な単語、基礎的な文法、初歩的な会話を練習する。						
【授業の目的】						
初めて中国語に接する学生を対象に、中国語会話の基礎を身に付けることを目的としている。とくに中国語発音の基礎に重点を置いて、正しい中国語の発音を取得させる。						
【到達目標】						
中国語の発音の基礎となるピンインが読めて、基本的な単語の発音ができ、自己紹介やあいさつ、簡単な日常会話ができるようになることを目指す。						
【準備学習(予習・復習)】						
前回の授業の内容をよく理解し、発音や単語、文法事項を覚えること。とくに発音を練習して覚えること。授業の時に与えられた課題を完成し、次の授業の時に提出すること。テキストのCDを聞いて発音練習をすること。						
【授業計画】						
第 1 回 中国語について、第 1 課 中国語の声調						
第 2 回 第 1 課 単母音、複合母音						
第 3 回 第 2 課 子音						
第 4 回 第 3 課 鼻母音と人称代名詞						
第 5 回 第 4 課 声調の変化と声調の組合せ						
第 6 回 第 5 課 動詞“是”、“吗”疑問文、名前の聞き方と答え方						
第 7 回 第 6 課 動詞述語文、副詞“也”“都”、選択疑問文						
第 8 回 第 7 課 “呢”疑問文、指示代詞①、“的”						
第 9 回 第 8 課 疑問詞疑問文、助動詞“想”、時点①						
第 10 回 第 9 課 形容詞述語文、反復疑問文、“吧”						
第 11 回 第 10 課 所有を表す動詞“有”、量詞、“几”と“多少”						
第 12 回 第 11 課 文末の“了”、時点② 時刻、前置詞“在”						
第 13 回 第 12 課 連動文、時点③年月日と曜日、疑問詞“怎么”						
第 14 回 第 1～12 課の総合復習						
第 15 回 まとめと期末試験						
【教科書】						
『大学生のための 初級中国語24回』杉野元子・黄漢青 著 白帝社 2011年初版、2014年第4刷発行。						
【参考書】						
『初級テキスト 身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群 著 白帝社 2009年初版、2013年第6刷発行						
【成績評価基準】						
試験50%、課題に取り組む姿勢30%、宿題練習20%で評価する						
【メッセージ】						
中国語が話せるようになれば、13億人とのコミュニケーションが可能になり、世界が広がります。ゼロからのスタートなので、中国語に関する予備知識がなくても構いません。いまから頑張れば必ず中国語をマスターすることが出来ます。積極的に受講してみましょ。						

区 分	専門科目—専門外国語科目	担当教員	徐亜文		
授業科目	中国語会話Ⅱ				
英 訳	Chinese Conversation II				
配当年次	1 年次 後 期	必選別	選 択	単位数	1 単位
【授業の概要】 中国語の発音の仕組みを最初に紹介し、それから発音の基礎となる母音、子音、声調を学習して、その上で基本的な単語、基礎的な文法、初歩的な会話を練習する。					
【授業の目的】 半年間ほど中国語を勉強した学生を対象に、中国語会話の基礎を身に付けることを目的としている。とくに中国語発音の基礎に重点を置いて、正しい中国語の発音を取得させる。					
【到達目標】 中国語の発音の基礎となるピンインが読めて、基本的な単語の発音ができ、自己紹介やあいさつ、簡単な日常会話ができるようになることを目指す。					
【準備学習(予習・復習)】 前回の授業の内容をよく理解し、発音や単語、文法事項を覚えること。とくに単語を復習して覚えること。授業の時に与えられた課題を完成し、次の授業の時に提出すること。テキストのCDを聞いて発音練習をすること。					
【授業計画】 第16回 第12課までの復習 第17回 第13課 指示代詞②、存在を表す動詞“在”“有” 第18回 第14課 動詞の後の“了”、動詞の重ね型、前置詞“给” 第19回 第15課 経験の“过”、動作量補語、前置詞“跟” 第20回 第16課 時間量、時間量補語、前置詞“从”“到”“离” 第21回 第17課 助動詞“会”、助動詞“能”、主述述語文 第22回 第18課 比較、“多”+形容詞、年齢の尋ね方 第23回 第19課 “是～的”構文、100以上の数、金額の言い方 第24回 第20課 状態補語、二重目的語、“有点儿” 第25回 第21課 方向補語、進行の“在”、禁止 第26回 第22課 結果補語、処置文、助動詞“可以” 第27回 第23課 受け身文、使役文、補語のまとめ 第28回 第24課 近い未来、“越来越～”、複文 第29回 第12～24課 総合復習 第30回 まとめと期末試験					
【教科書】 『大学生のための 初級中国語24回』杉野元子・黄漢青 著 白帝社 2011年初版、2014年第4刷発行。					
【参考書】 『初級テキスト 身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群 著 白帝社 2009年初版、2013年第6刷発行					
【成績評価基準】 試験50%、課題に取り組む姿勢30%、宿題練習20%で評価する					
【メッセージ】中国語が話せるようになれば、13億人とのコミュニケーションが可能になり、世界が広がります。また中国語検定試験を受けることができ、就職に役に立つ資格が取れます。いまから頑張れば必ず中国語をマスターすることが出来ます。積極的に受講してみましよう。					

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	金 廷祐		
授業科目	韓国・朝鮮語会話 I				
英 訳	Korean Conversation I				
配当年次	1年次 前期	必選別	選択	単位数	1 単位
【授業の概要】 前期では、まず韓国語文字の読み・書きの習熟による円滑な発音の習得を目指す。語学のさらなる上達を考えると欠かせない基礎部分である発音の熟達を基礎に、挨拶や自己紹介などの基本的な日常会話の習得も副産物として期待する。必要に応じて映画やK-popといったメディアも活用し、学習した言語を早く使ってみよう。					
【授業の目的】 この授業は初めてハングル（韓国・朝鮮語）を学ぶ人のための入門クラスで、韓国朝鮮語 I の講義と並行しながら、ハンガルの基礎的コミュニケーション能力を獲得することをその目的とする。					
【到達目標】 この授業の到達目標は以下のとおりである。 ・韓国語の簡単な単語や文章が読めるようになる。 ・あいさつや基本的な表現を用いて、韓国語で自己紹介や簡単な会話ができるようになる。 ・人工語である韓国語の創出起源を理解し、表音文字である各文字の発音と表記ができるようになる。					
【準備学習(予習・復習)】 (復習) 配付プリントを整理し前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問としてまとめること (予習) 次回の項を読んでおくこと、不明点をチェックしておくこと					
【授業計画】 第 1 回 韓国語、朝鮮語、そしてハングル…人工語である韓国語の創出過程と韓国語を取り巻く国際環境などを眺める。 第 2 回 ハングルの文字と発音…母音と子音 第 3 回 ハングルの文字と発音…すべての子音 第 4 回 簡単な音読、文字の復習① 第 5 回 簡単な音読、文字の復習② 第 6 回 基本的なあいさつ…出会い／別れのあいさつ 第 7 回 自己紹介…私は〇〇です。 第 8 回 基本的な日常会話 1…これは何ですか。 第 9 回 小テストとビデオ鑑賞 第 10 回 基本的な日常会話 2…花は〇〇です 第 11 回 基本的な日常会話 3…〇〇はどこですか 第 12 回 動詞の活用…否定文の 2 種類 第 13 回 基本的な日常会話 4…〇〇へ行きます 第 14 回 復習と音楽鑑賞（文法と並行） 第 15 回 「まとめ」					
【教科書】 『韓国語の初歩 改訂版』巖基珠、金三順、金天鶴、吉川友文、白水社 2010年初刷					
【参考書】 韓日辞書（たとえば『日韓・韓日辞典』（民衆書林））					
【成績評価基準】 授業に対する姿勢・課題解決度30%、小テスト20%、期末試験50%で評価する					
【メッセージ】 ①相乗効果が高いため、韓国・朝鮮語 I との並行履修をおすすめする。 ②4・5月の学習がその後の進捗と楽しさをほぼ決定づけるので、必ず参加すること。					

区 分	専門科目－専門外国語科目	担当教員	金 廷祐			
授業科目	韓国・朝鮮語会話Ⅱ					
英 訳	Korean Conversation II					
配当年次	1年次 後期	必選別	選択	単位数	1単位	
【授業の概要】 後期授業では、前期で獲得した授業成果、すなわち、ハングル文字と発音の習熟をもとに、基礎的な文法と日常会話の能力を高めていく。また、日本語との対照言語学的な観点からの理論的な面白さを満喫する一方で、実際に使える表現能力の上達を目指す。とくに、基本的な文法と語彙をもとに、読み・書き・聞き・話す四機能をバランスよく伸ばしていく。前期同様、映画・K-popといったメディアも活用し、学習した言語を早く使ってみよう。						
【授業の目的】 この授業の目的は、韓国語全般にわたる基礎的な知識や活用方法の獲得である。具体的には、文字や発音の熟達に重点を置いた前期の成果に、読み・書き・聞き・話しの四機能をバランスよく接続して、次のステップである中級クラスへの準備作業を完成することである。						
【到達目標】 この授業の到達目標は下記のとおりである。 ・基本的な文型と語彙を用いて、簡単な日常会話ができるようになる。 ・教科書で学んだ基本文型を用いて簡単な文章を構成する力を習得できる。 ・使用頻度の高い語彙や表現を、様々な状況に応じた会話のなかで表現できるようになる。						
【準備学習(予習・復習)】 (復習) 配付プリントを整理し前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問としてまとめること (予習) 次回の項を読んでおくこと、不明点をチェックしておくこと						
【授業計画】 第 1 回 好き嫌いの表現 第 2 回 買い物 第 3 回 食事に関する表現 第 4 回 状態・状況に関する表現 第 5 回 時間と曜日に関する表現 第 6 回 昨日したこと 第 7 回 能力に関する表現 第 8 回 意志・願望に関する表現 第 9 回 小テストとメディア学習 第 10 回 自分の考えを伝える 第 11 回 電話をかける 第 12 回 ハングルでナゾナゾ 第 13 回 友達との会話 第 14 回 簡単な歌詞の歌を聞いて歌おう (ハンサラム：ひとり) 第 15 回 「まとめ」						
【教科書】 『韓国語の初歩 改訂版』 巖基珠、金三順、金天鶴、吉川友丈、白水社 2010年初刷						
【参考書】 韓日辞書 (たとえば『日韓・韓日辞典』 (民衆書林))						
【成績評価基準】 授業に対する姿勢・課題解決度30%、小テスト20%、期末試験50%で評価する						
【メッセージ】 相乗効果を高めるため、 <u>韓国・朝鮮語 II</u> との並行履修をおすすめする。						